

GRACE MOMENTS



Prophecy and Promise

Pastor Mark Jeske

Straight Talk Books
P.O. Box 301, Milwaukee, WI 53201
800.661.3311 • timeofgrace.org

Copyright © 2019 Time of Grace Ministry

All rights reserved. This publication may not be copied, photocopied, reproduced, translated, or converted to any electronic or machinereadable form in whole or in part, except for brief quotations, without prior written approval from Time of Grace Ministry.

Scripture is taken from the HOLY BIBLE, NEW INTERNATIONAL VERSION®. NIV®. Copyright © 1973, 1978, 1984 by Biblica, Inc.™ Used by permission. All rights reserved worldwide.

日本では、自分から進んで旧約聖書を読むクリスチャンはあまり多くありません。そういう人たちの気持ちを代弁すると、「新約聖書の、この話やあの手紙を読むのは好きだけれど、預言のメッセージはなんだか複雑すぎて読む気が失せる」というところでしょうか。

その気持ちは理解できますが、とても残念なことです。なぜかというと、旧約聖書の預言者たちは、神本人から直接受け取ったメッセージを、そのまま私たちに向けて語っているからです。預言者の言葉は、素晴らしい美しさと癒しに溢れ、あなたを励まし、あなたの徳を高めてくれるのに役立ちます。さらに預言者たちは、未来を垣間見ることがゆるされました。それはあなたの未来です。それは今起こっていることを理解するのを助け、またあなたと他の信者たちの未来に起こることに備えるのを助けてくれます。

預言者たちが目にしたものの一つは、天国の純粹で輝かしい栄光です。そして、この金色に輝くまぶしい景色が、私たちがこの世で生きる上での後押しになります。人生は決して生優しいものではありません。しかし、神は人生で起こる大変な出来事をすべて手中におさめ、その経験を通じて、あなたを天国に連れて帰るという目的を達成しようとしています。

では、これからご一緒に預言の冒険の旅に出かけましょう。用意はいいですか。では、出発です！

Pastor Maule Jeske

1・あなたの敵にご用心

まず始めに、美しさと癒しとは少 かけ離れた話をさせてください。物騒な話になりますが、戦争におけるゲリラ戦についての話です。軍隊というのは通常、ゲリラ戦を嫌います。それは、ゲリラを仕掛けてくる敵が軍服を着ないうえ、広い場所に出て正 堂 と戦わないからです。ゲリラ戦士は一般市民の間に隠れ、大きな戦いを避けながら敵を待ち伏せしています。

先ほど、人生が困難に満ちているという話をしましたが、その理由はこうです。あなたの周りには、身を隠したゲリラ戦士のような敵が潜んでいます。ゲリラ戦士というのは、自分たちは正当な戦い方では勝てないと分かっています。あなたの敵であるサタン（悪魔）も同じなのです。

聖書は鮮明な描写でこの恐ろしさを私たちに理解させようとしています。そしてサタンが仕掛ける霊的な攻撃に耐えさせてくれるのです。こちらに5つの描写を挙げました。是非、このまま読み進めてください。

蛇の姿をとった敵

蛇の何があんなに人をゾッとさせるのでしょうか。それは皮膚の感触でしょうか。それとも音を立てずにスルスルと這いまわる姿でしょうか。それとも毒を持っているからでしょうか。

人間に対して残虐な暴行を行おうとしたサタンは、蛇の体に移りました。汚れがなく栄光に満ちた天使であったサタンは墮落し、悪意に満ちた卑劣な霊になって、神を攻撃するために神の子ども達を襲いました。待ち伏せ攻撃をする代わりにサタンは、疑い、嘘、怖れ、うぬぼれを神の二人の子どもたちの心に植え付けてしまいました。

サタンがエバを誘惑したのと同じような思いや衝動を、私たちは体験しています。それなので、私たちはサタンの声を知っています。サタンはエバにこんな事を言いました。「あなたがたは決して死にません」（創世記3章4節）。これは明らかに嘘です。聖なる神に対する人間の反抗は、3つの呪いをもたらしました。それは人間の痛み、確実な死、そして永遠の地獄です。

自分を誤魔化さないでください。自分の人生を、目を大きく開いて点検してください。あなたには、蛇のように静かで、敵意に満ち、辛抱強く、死をもたらそうとする、真剣で恐ろしい敵がいます。でもこのことも覚えておいてください。あなたの救い主はその敵の頭を踏み砕いたのです。

ライオンのような敵

動物園に行くことの醍醐味のひとは、野生の動物たちが檻に入れられているのを見ることです。唸り声を上げながら落ち着き無く歩き回る動物たちは、柵があるおかげで私たちが襲うことはできません。聖書の中で、ある使徒はこのようにクリスチャンたちにはっきりと書き送っています。「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています」（第1ペテロの手紙5章8節）。

あなたがキリストを信じた時、サタンはあなたを呪う力を失いました。でもサタンはもう一度あなたを地獄側へ引きずり取り戻そうと必死に動き回っています。サタンは今だにこの世の王なので、あの手この手で神を信じることを諦めさせようとしています。自分の力が弱いと感じる時は、何者もその手からあなたを奪い去ることができない、と約束した神に信頼しましょう。（ヨハネの福音書10章28節）

主イエスは、さらに偉大なライオンで、私たちの世界で起こることの最終的な支配権を持つ方です。その雄叫びは私たちにとって素晴らしい知らせです。それは、神の悪魔に対する圧倒的な勝利を宣言する勝ちどきの声だからです。

竜のような敵

竜（ドラゴン）は想像上の生き物です。それでも何世紀にもわたって沢山の異なる民族の文学に登場しています。その大まかな性質はよく知られています。驚異的な力を持ち、体は鱗で覆われ、火を吹き、大きな尾についた尖った突起で攻撃します。とはいっても、竜はあくまでも想像上の生き物です。では、悪魔も同じように想像上の生き物だと考えていいのでしょうか。いいえ、それはできません。私たちの感じる鋭い痛みと死の存在は、サタンもまた実在することを実感させます。使徒パウロはサタンの醜さをよく伝えていきます。「すると、竜は女に対して激しく怒り、女の子孫の残りの者、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを保っている者たちと戦おうとして出て行った。」（黙示録12章17節）ヨハネは、竜は自分の時間が少ないことを知っているので、怒りに溢れているといっています。

聖書のこの驚くべき箇所は神の子羊であるイエス・キリストが、竜（悪魔）を倒したことを確信させてくれています。イエスへの信仰によって、私たちもまた勝利者になり、竜を「小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに」（黙示録12章11節）倒すのです。では、結論はどうなるのでしょうか。悪魔の存在を認めるべきでしょうか。はい、認めましょう。ではこの悪魔を恐れるべきですか。いいえ、恐れる必要はありません。

獣（けだもの）のような敵

悪い知らせがあります。あなたの敵はひとりではなく、沢山います。それはサタン（悪魔）に従う墮落した天使たちで、デーモンと呼ばれています。彼らも、あなたを憎んでいます。もっと悪いことに、サタンはある人間たちを騙して、その酷い計画に従うように誘い込みました。

サタンに従う人間たちは、時、強力な政治的・軍事的な権力を持ち、信仰を持つ人達を攻撃したり痛めつけたりします。聖書ではこうしたサタンの、政治的または軍事的な力を「海から出てきた獣」と読んでいます。「彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。・・・ここに聖徒の忍耐と信仰がある」（黙示録13章7、10節）。

多くの信者たちは、こうした獣のような政府による酷い迫害を受けてきました。今日のような「開かれた時代」であつてもクリスチャンたちは迫害され、逮捕され、投獄され、痛めつけられ、獣に殺されたりしています。気をつけていてください。驚かないでください。そしてこれを覚えておいてください。獣たちはあなたの永遠の救いを奪うことはできません。クリスチャンの殉教者の流した血は、地上に残っている者たちにとって、救い主をより素晴らしく見せるだけです。

不法の人のような敵

私たちがもし、緊急に医者に診察してもらわなければならない時、主治医の能力についてあまり心配することはありません。医者とはとても高いレベルの国家試験に合格し、そのレベルを保ち続けることを社会的に求められているからです。しかし、教会の指導者たちにはそのような国家的な保証はありません。ここに、私たちの敵に対して最後に警戒するべき点があります。それは、敵が教会や教会組織の中にも潜入しているということです。教会の働きを妨害するサタンの力は、外側だけではなく、内側にも存在するのです。

聖パウロはこうした「内側の腐敗」を、「不法の人」と呼んでいます。「不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます」（第2テサロニケ人への手紙2章9、10節）。

教会の指導者たちにモラルに反した行いがあっても、どうか驚かないでください。神学を教える教授達が真理を捨て、地獄に属する嘘の教えを教えることがあります。聖職についている人たちがその権力を使って人を痛めつけることもあります。ですから聖書に固く結びついて、神の言葉を完全に信頼しましょう。そして、そこに書かれている救い主に固くしがみつきましょう。そうすればあなたは安全です。

2・あなたは警告を受けました

子供というのは先のことについて考えるのが嫌いで、今ある楽しみが終わってしまうことを知らされるのを、さらに嫌がります。つまり物事の精算をしなければならぬ日はきっと来ない、と思い込もうとするのです。例えば、夏休みが終わって欲しくないと思いつながら、自由研究の提出期限が来週に迫っていることを考えないようにします。大学の入学はずっと先のことだと思って、貴重な時間をだらだらと無駄に過ごし、せつかくの奨学金の申し込をふいにしてしまうこともあります。

大人も実は、大きな子どものようなものです。つまり大人も、こうした子どもっぽい態度を多少巧妙にごまかせるようになっただけです。低い所で落ちついているのが好きで、同じことを繰り返すのが好きです。人に信頼されることを嫌い、変化を嫌います。

旧約聖書に登場する神の預言者は、多くの時、人のとても強い反抗に会いました。それは、人が神に対して責任を感じたくなかったり、自分の罪深さに気づかなかつたり、自分たちに残された時間の短さを認識しなかつたからです。でもあなたは、これらのことを知る必要があります。どうぞ、読みすすめてください。

神はすべてを見ている

日本の国民がとても大切にしている権利のひとつは、プライバシーの権利です。地方自治体や国家権力は個人の家や敷地に勝手に入ることはできませんし、裁判所による正当な理由付けがない限り電話を盗聴することもできません。正式な手順に反する方法で入手した証拠は、裁判で有効とみなされません。また犯罪の容疑者が逮捕される前には、黙秘権に関する権利を聞くことが義務付けられています。

でも神に関する限り、私たちにプライバシーの権利は一切ない、と聞いたならあなたは驚くでしょうか。神はあなたの創造主であり、裁判官です。神には、あなたの表向きの行いを注意深く見るだけでなく、あなたの言葉、さらには思いまでも聞く権利があります。詩篇11篇4節にはこう書いてあります。「主は、その聖座が宮にあり、主は、その王座が天にある。その目は見通し、そのまぶたは、人の子らを調べる」。つまりこの世界すべては、神に対して責任を負っているのです。神の目の前には世界のすべてがありのままさらけ出されています。神はあらゆるもののすべてを見、すべてを覚えているのです。

ここで何を伝えたいかという、神に対する罪に時効を申し立てて、自分の行いの責任から逃れようとしなくて欲しいということです。そんなことをすれば、あなたの大切な時間が無駄になるだけです。言論の自由もプライバシーの権利も持ち出してはいけません。いい弁護士を雇おうとしたり、達者な口で自分を弁護しようとしてもすべては無駄です。神はあなたの言動を見て、知っています。神は覚えています。あなたに逃げ場はありません。

多くの罪

私が小さかった頃の家族写真には、5人兄妹全員で写っているものがたくさんあります。しかし、母はよく6人目の子どもがいるのではないかと、といていました。その子どもの名前は「やってない」です。それはお風呂の鏡を汚くしたり、床におもちゃを散らかしたり、ガスコンロの上でプラスチックのフィギュアを溶かしてしまったりする子です。その子は絨毯にガムを落とし、地下室の窓ガラスを割ったりもしました。

神に対して罪を犯す人間の最初の発言は、たいてい、「私はやってない！」という否定の言葉です。旧約聖書には、イスラエル人の魂が次第に腐敗していく話が沢山あります。彼らは、私やあなたと同じように、始めは自分に問題があることを認めようとしませんでした。

預言者イザヤは彼らの反抗的な行為の直接的な結果として、経済的そして軍事的な破滅が訪れることを説明しました。「それは、私たちがあなたの御前で多くのそむきの罪を犯し、私たちのそむきの罪は、私たちとともにあり、私たちは自分の咎を知っている」（イザヤ書59章12節）。こうした自己理解は悲しみを生みます。また神の前で悲しむ事は、悔い改めにつながります。そして悔い改めは、私たちを神に引き戻してくださる唯一の救い主への信仰へと結びつきます。